



## 目次 CONTENTS

- ◆平成27年度当初予算議決……………2～3
- ◆3月定例議会で決められた概要 ……4
- ◆予算決議討論 ……5
- ◆委員会審査 ……6～7
- ◆各常任委員会の閉会中における所管事務調査報告 ……8
- ◆一般質問 ……9～15
- ◆議案に対する賛否状況 ……16～17
- ◆その他 ……18



石橋地区消防組合壬生消防署庁舎

# 114億8千万円

## 四八 一歩一歩前進、 幸せな町「みぶ」の創生

平成27年第1回定例議会は3月3日に招集され、3月18日までの16日間開催されました。

一般会計予算は、前年と比較すると1・03%の減額となります。大規模事業等の完了と医療費助成の拡大等により、前年とほぼ同水準の予算規模となりました。

主な要因といたしましては、中央公民館の改修工事（舞台機構設備改修工事、エレベーター設置工事）の完了、聖地公園整備事業の縮小及び中小企業融資制度事業の預託金の減額などによるものです。

**問** 予算作成にあたり、行政改革による経費削減等については

**総合政策課長** 経常経費については、充分な見直しをしまして不要不急なものについては計上しないということで対応させていただきました。

**問** 固定資産税の増額見込みについては

**税務課長** 現年分、約9,927万円の増額が見込まれております。一点は、羽生田産業団地の土地の売却による課税となります。二点目、宅地開発による住宅分譲（至宝、安塚地区）により新築物件が約240棟ございます。三点目、償却資産として羽生田産業団地の、現在2社分の27年度からの新規課税、そのほか太陽光発電設備増設57件分の増額見込みであります。

**問** 政府が進める、いわゆる成長戦略を町長はどう捉えているのか

**町長** 従来からのまちづくり、総合振興計画、前期・後期基本計画とすり合わせて行い、未来を開拓できるような設計にしていきたいと考えています。

**問** こども医療費助成事業の、本町の実質持ち出し分については

**こども未来課長** 予算7,000万円を増額致しておりますが、県で3歳から未就学児まで現物拡大したことから、県補助が2分の1受けられ、それを差し引いた分が町持ち出しとなります。

**問** 中央公民館改修工事のバリアフリー化事業について

**生涯学習課長** コミュニティ助成事業の中の共生の地域づくり助成事業から1,000万円の助成を受け実施します。

① 1、2階の来客用のトイレの洋式化及び暖房便座、温水洗浄便器設置

② トイレ付近の床段差の解消

③ 1階の大ホール東側通路の段差解消のためのスロープの改修が主な内容となります。

## 特別会計予算

### ■国民健康保険特別会計

平成30年度からの県単位での財政運営に向けた環境整備が進められています。予算額は53億4,229万2千円です。

総額は7億420万7千円です。

### ■公共下水道事業特別会計

平成32年度までに公営企業会計に移行

が要請され、予算総額は16億9,924万6千円です。

### ■後期高齢者医療特別会計

広域連合との連携のもと、円滑な運営を図ることを念頭に予算編成され、予算総額は3億4,169万7千円です。

### ■奨学資金特別会計

町内中学校の卒業生で高校生の修学のために助成し、予算総額は170万1千円です。

### ■水道事業会計

収益的収入の総額を6億3,573万9千円、支出の総額を5億1,948万2千円とし、資本的収入の総額を1億4,065万円、支出の総額を5億373万円とし、資本的収入額が支出額に対し不足する額は、損益勘定留保資金等をもって補てんしています。

### ■介護保険事業特別会計

団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて、認知症施策、医療との連携等地域包括ケアシステムの実現に必要な取り組みを進展させる必要があります。

平成27年度予算は、28億666万2千円です。

### ■農業集落排水事業特別会計

現在供用中の5地区の維持管理、「黒川東部地区」の工事費等を計上し、予算

議会では、長期的な観点にたつて策定されている基本構想に合致しているか否か、町長の予算編成の方針に基づき、住民全体の福祉を念頭においた堅実な予算であるか、不時の支出に備えての財源が留保されているか、本議会及び各常任委員会での十分な審議を行い、当初予算は原案どおり可決しました。



# 3月定例議会

## 条例

### 旅費の日当を廃止

議会の議員、非常勤特別職、町長等、職員及び各種委員会について旅費の日当を廃止する条例の一部改正を、全会一致で可決しました。

### 100歳の敬老金 一律10万円支給

在宅者及び施設入所者の支給格差をなくし、特別敬老金を一律10万円とする条例の改正を全会一致で可決しました。

### 平成27年度介護保険料 200円アップ

平成27年度から平成29年度までの65歳以上の介護保険料の基準額が4,800円となる、条例の改正を賛成多数で可決しました。

今回の定例議会は、町長から提出された条例の制定・改正23件、町道路線の認定等3件、建設工事変更契約の締結1件、人事案件3件、補正予算6件及び平成27年度予算8件、その他3件の47議案が上程され、いずれの議案も原案のとおり決まりました。  
また、総務・建設経済常任委員会における閉会中の継続調査（8頁参照）は、初日の本会議において調査結果報告がありました。

## 人事案件

### 副町長に櫻井氏を選任



平成27年4月2日付、副町長に櫻井康雄氏（栃木市城内町）を任命することに同意しました。

### 教育委員会教育長を選任



平成27年4月2日付、教育長に田村幸一氏（北小林）を任命することに同意しました。

### 人権擁護委員を再任



平成27年6月30日任期満了に伴い糸川武正氏（上田）の再任に同意しました。

## 平成26年度 補正予算 (平成27年3月定例会可決)

(単位：千円)

会計名等		補正額	補正後の予算	補正の主な理由
一般会計		117,587	11,981,040	国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に対応し、新たな事業として「地方創生推進事業」を設定し、生活支援や消費喚起及び地方創生に関する補正予算を主なものとし、予算編成をしたもの。
特別会計	国民健康保険	△44,652	4,809,239	年度末を迎えることから、歳入歳出全般についての見直しによるもの。
	公共下水道事業☑	△106,565	1,297,419	各事業等の進捗状況の精査によるもの。
	介護保険事業☑	19,347	2,722,492	介護給付費に要する所要額に過不足が見込まれることによるもの。
	農業集落排水事業	△9,179	726,682	建設事業の実績による減額、施設の維持管理費等を計上したことによるもの。
水道会計	収益的 支出	39,247	555,634	各項目の所要額の精査によるもの。
	資本的 支出	△154,241	539,969	配水施設整備費等に要する所要額に過不足が見込まれることによるもの。

# 予算決議討論

## 【一般会計】

### 反対討論

歳入については、固定資産税が大幅に伸びているが、課税物件の現況を正確に調査する必要があるのではないかと。また、軽自動車税の引き上げは配慮に欠ける政策だ。

歳出では、年々増加している役場で働く臨時雇用者に対する処遇改善がみられない。マイナンバー制度の導入については、個人情報流出に対する国民の不安は解消されていないのに関わらず10月の実施に向けた準備を進めている。図書館



の指定管理委託契約は公共団体が負うべき責任を安易に外部委託するものだ。新体育館の建設は多額の費用を費やす事業のため、まずは民意を問うべきである。これらの事業の執行に対し慎重姿勢を求め、反対です。

小貫 暁 議員

### 賛成討論

厳しい財政事情のなか、旅費をはじめ経費全般において見直しを行い、節減に取り組まれたことがうかがえる。

今後到来する人口減少社会に対する足固めとして、こども医療費助成事業における中学3年生までの現物給付の拡大や、保育所緊急整備事業における民間保育園の増設を計上、また、健康長寿のまちづくり推進事業を新設し、獨協医科大学との



共同研究により健康寿命を延ばす取り組みが見られる等、子育て環境の充実と支援や健康づくりを推進していくことにより、「だれもが住みたいまち」の実現に向けた予算措置がされていることから、賛成です。

赤羽根 信行 議員

## 【国民健康保険会計】

### 反対討論

予算計上されている国保税額を前年度と比較すると、世帯あたりでは2%、1人あたりでは3・1%の増となっている。国民所得が減少するなかでの負担増は加入率の高い低所得者を制度から排除するもので、憲法第25条及び国保法第1条に基づく制度の主旨からみて本末転倒であるため、反対です。

小貫 暁 議員

### 賛成討論

低所得者に配慮した保険税の軽減を実施する一方、国県支出金や各種交付金等で歳入の確保が図られている。

歳出では、特定検診・特定保健指導事業に係る経費を計上し、健康に対する意識の高揚を狙い、ひいては医療費の抑制・適正化を図るための予算措置がされており賛成です。



大島 菊夫 議員

## 【介護保険事業会計】

### 反対討論

歳入については、前期と比較して保険料の見直しによる引き上げが計上されているが、所得の少ない1〜5段階の人の負担が増える一方で、所得のある7段階の人は減額となっており、適切な見直しといえるのか。さらに介護事業所に対する2・27%の報酬引き下げは、小規模事業者の休廃業・解散等を助長し、施設介護を必要とする要介護者の不安を拡大させるため、反対です。

小貫 暁 議員

### 賛成討論

歳入については保険給付及び新しい地域支援事業に関連して公費負担分の国県支出金、支払基金交付金、介護保険料などが適正に計上されている。

一方歳出においても、保険給付費では地域に密着した介護サービス、介護予防サービスに対応した予算を、また、地域支援事業では地域包括支援センター



への委託料、介護予防・高齢者世帯の支援策など適正な予算措置がされており賛成です。

鈴木 理夫 議員

# 委員会審査

常任委員会は、3月4日から17日まで、予算全般にわたり活発に審議を行い、本会議に常任委員長が報告をしました。

主な審査内容は次のとおりです。

## 本会議で予算決議の審議結果を報告する各常任委員長



坂田建設経済常任委員長



田村教育民生常任委員長



玉田総務常任委員長

### 総務常任委員会

委員長 玉田 秀夫  
副委員長 河野辺恒雄  
委員 落合 誠記

〃 市川 義夫  
〃 赤羽根信行  
〃 遠藤 恭子

### 庁舎3階のトイレ修繕工事について

改修工事に159万3千円を計上しています。設計の際、詳細については議会と調整を図りながら進めていきます。

### マイナンバー制度の交付金について

マイナンバーについては、総務省分のシステムである住基システム、税務システム、総合宛名システム、中間サーバーの費用として総額1億7,379万2千

円を予定しており、その内、税務システムについては、3分の2の補助率で、残りの3分の1が交付税措置の予定です。

### デマンドタクシーの収支率について

直近の収支率は平均で22.6%となっています。一番高い時期では12月に24.4%となり、県内平均が20%を切る状況の中、今のところ適正な運営がなされています。

### ふるさと応援寄付金について

従来は千瓢の小袋程度でしたが平成27年度からは寄付額1万円以上については、5千円相当の町の特産物等を贈呈させていただきます。



採決の結果、常任委員会に付託された一般会計予算決議（所管事項）、国民健康保険特別会計予算決議（所管事項）、介護保険事業特別会計予算決議（所管事項）、後期高齢者医療特別会計予算決議（所管事項）につきまして、全委員異議なく原案のとおり可決いたしました。



## 教育民生常任委員会

委員長 田村 正敏  
副委員長 中川 芳夫  
委員 細井 敬一  
委員 榎井 聰  
委員 小牧 敦子

### 老人福祉施設整備事業と老人保護措置事業について

老人福祉施設整備事業は、認知症グループホームを平成27年度中に公募し、整備します。老人保護措置事業は、65歳以上で身寄りの無い方などを、町で保護して老人ホームで生活して頂くものです。

### 病児保育施設広域利用委託について

町では現在、病後児保育と体調不良児対応を実施しておりますが、

平成27年度より、済生会宇都宮病院にて、壬生町を含め12市町の参加により、病児保育が行われます。

### スポーツ振興くじ助成金について

totoのサッカーくじの助成金で、事業に対して助成されます。例えばゆうがおマラソンですと会場設営費、消耗品等が該当し、ゆうがおスポーツクラブの運営にも充てられています。

### 国民健康保険運営協議会の委員の職域について

公益代表が農業委員会、自治会、女性団体の3名。被保険者代表が、自営業1人、農業2人。保険医代表が医師会、歯科医師会、薬剤師となっています。



採決の結果、当常任委員会に付託されました一般会計予算決議（所管事項）、国民健康保険特別会計予算決議（所管事項）、奨学資金特別会計予算決議、介護保険事業特別会計予算決議（所管事項）、後期高齢者医療特別会計予算決議（所管事項）につきまして、全委員異議なく原案のとおり可決いたしました。

## 建設経済常任委員会

委員長 坂田 昇一  
副委員長 高山 文雄  
委員 小貫 暁  
委員 大島 菊夫  
委員 鈴木 理夫

### 壬生町農業再生協議会について

経営所得安定対策事業を主とし、転作確認、そば・大豆の作付の現地調査、麦の転作以外の加算対象の奨励金の計算、国・県等への書類提出などが主な業務となる。会長は町長、事務局長は農政課長となっており、町職員1名、JA職員1名、臨時職員1名の3名で業務を行っています。

### ブランド推進事業について

ブランド品につきま

しては、一部を道の駅、わんぱく公園の売店で取り扱っており、PR効果も見込める。平成27年度のブランド推進事業については、新たな認定を視野に入れた募集を行っています。

### 六美地区雨水排水対策事業について

雨水排水区域の変更はせず、区画整理事業地内で見込んでいた分は調整池へ流すこととなります。まだ流入していないエリアがあり、全部が接続された状況でも対応できる設計になっています。

### 町営住宅使用料について

空き部屋の数は過去5年間の実績で10～12%となっており、ことから、予算は空き家率を10%としています。調

定額はどの部屋も満室の状態でも段階が低い方の料金で算出しています。

採決の結果、当常任委員会に付託されました一般会計予算決議（所管事項）については賛成多数で、公共下水道事業特別会計予算決議、農業集落排水事業特別会計予算決議、水道事業会計予算決議については、全委員異議なく原案のとおり可決いたしました。



## 各常任委員会の閉会中における所管事務調査報告

各常任委員会での調査結果につきましては、3月定例議会初日、本会議において、報告いたしました。

### 総務常任委員会

自主防災組織の設立運営事業の検証について所管となる総務課担当職員から説明を受け、調査いたしました。担当課より、自主防災組織とは、住民が自治会等で各地域の実情に応じて組織化し、地域住民が自主的に連携して防災活動を行う集まりのことであり、具体的には平時時は防災訓練や広報活動、防災資機材の備蓄・点検など、災害時には初期消火、救出救護、避難誘導、負傷者の救出・救護、災害情報の収集・伝達、避難所の運営などの活動を行います。個人や家族だけの力だけでは限界があり、近隣住民が一致協力し、地域ぐるみで取り組む防災活動が大変重要とのことでした。

また、設立及び補助金の交付状況については、14組織が登録しています。平成26年度で設立補助2件、資機材購入補助6件、事業補



助11件で、平成27年1月末現在、78万9,354円の交付額となっているとの説明でした。調査の結果、委員会として自主防災組織の必要性を説いて、各自治会の設立に向けての組織づくり推進を要望いたしました。

### 建設経済常任委員会

商業振興に関わる実態調査に関する事項につきましては、所管課から用意された資料により、主に、町内商店街の状況や各種支援事業等の各項目について説明を受け調査いたしました。

商業振興に関する実態調査につきましては、現在、地場産業の衰退は深刻な状況で、何かしら手を打たねば、廃業や空き店舗がさらに増えるが、ここ数年の商工費予算は年々減少してきており、実態に合わない予算との意見がありました。

また、説明の中であった「壬生町商店会等助成金支援事業」・「まちづくり支援事業」については、補助金を投入したが、結果、活性化につながっておらず、次につなげるためには、やはり事業評価をきちんと実施するべきであり、評価は、商工会に対し活動内容のヒアリングを行い、本年度からは町で実施している事務事業評価シートのような様式に記入をして



もらい提出するよう指示していることを確認いたしました。調査結果により壬生町の地域資源を活かしながら、総合的なまちづくりを進めていくことが大切であり、宇都宮大学による研究結果等も十分に活用し、今後は補助金の打ち切りとともに消滅となってしまうような事例が起きないように、事業評価を行いながら、町が元気になる事業を取り入れていくべきである。ということをお本委員会からの要望といたしました。



# Q&A

## ここが聞きたい 一般質問

# 放

## 課後子ども総合プラン」の目標値は

民生部長

5カ年計画の中に位置づけれます



遠藤恭子 議員

安全・安心の対策を図る予定です。

放課後子ども総合プランの今後は

**問** 本年4月からの「放課後子ども総合プラン」の本町の目標値はどのようか。

**民生部長** 平成27年度から

平成31年度までの5カ年計画の中で、平成30年までに9か所、360名分を確保することとしており、また具体的な確保策としては、2か所を新設し90名分の受け入れ態勢を確保することとしています。

**問** 本町の7か所の放課後児童クラブの待機児童の有無は。

**民生部長** 平成27年4月から

の利用希望者で待機となっている児童は、現在2か所、6名となっています。

本町の人口減少対策は

**問** 本町の子育て環境の一層の充実と住環境の考えはいかがか。

**町長** 六美町北部地区におき

まして、住環境の向上を目指した整備に向け、地元の土地区画整理研究会とともに鋭意努力をしている所であります。今後は住環境を整えることが人口減少の対策の一つとなりますので、みんなが快適で便利に暮らせるまちづくりを進めてまいりたいと考えています。

町立図書館の指定管理者制度導入でどう変わるのか

**問** サービスの質の向上のために4月から導入するサービスは。開館時間延長にあたっての防犯対策はいかがか。

**教育長** 開館時間が午前9時

から午後7時までとなり、開館時間は1時間30分長くなり、また祝日や館内整理日を

開館日といたしまして、学校の夏休み期間中は毎日開館日とすることで、年間33日ほど増えることとなります。貸し出しは図書については制限なし、CDなど視聴覚資料は10点まで、雑誌は10冊までとなりまして、貸し出し点数の大幅な拡大を行います。

防犯対策としては図書館の北側駐車場までの通路に人感知器式の照明を増設し、図書館正面にはサーチライトを2基設置いたしましたして、利用者の



夜間の照明灯が必要となる中央公民館前

# Q&A

ここが聞きたい

## 一般質問



### るさと納税で壬カアップ!

#### 町長 町の魅力を積極的にPRします



坂田昇一 議員

対応を加速させたいと考えています。

#### ふるさと納税制度について

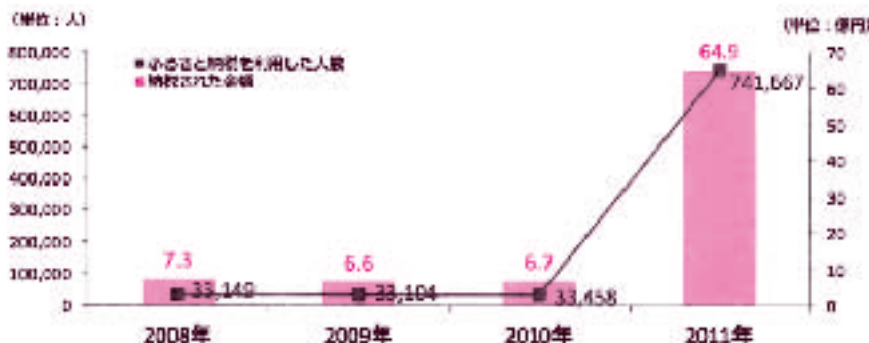
**問** ふるさと納税の寄付額と件数は。

**町長** 平成25年度につきましては、県内25市町中、寄付額が23位、件数も23位であり、平成26年度につきましても、9月末現在で寄付額が25位、件数は22位タイとなっています。

**問** 地域振興のため、この制度を活用する考えは。

**町長** 来年度から実施する予定の寄付者に対する商品につきましては、「ブランド品の認定」を決定しましたので、地域振興や壬生町のPRのためにも謝礼の目玉の商品として推進をしていきたいと考えています。

ふるさと納税の利用者数と納税金額の推移（全国）



#### 空き家の管理対策について

**問** 老朽化した空き家の対応と軒数は。

**民生部長** 各自治会からの調査は当初354件あり、その後の職員の外観視により周辺の生活環境に悪影響を与えると思われる管理不全空き家は47軒となりました。

また、空き家に関する総合窓口は、生活環境課としまし

**問** 空き家に対する特別措置法制定を受けての今後の取組とスケジュールは。

**民生部長** 条例の制定や適切な運用などを見据え、庁内の事務分担等の課題を整理し、今後国から示されるガイドラインを参考にし、実施に向け

た。ただし、空き家の状況により庁舎内で役割分担を確認し、各課連携して対策に当たることとしました。

**問** ふるさと納税、県内最下位今後の取り組みと対応は。

**町長** 平成27年度から他の県、市町村に劣ることのないようにしっかりと取り組んでいきたいと考えています。謝

# Q&A

ここが聞きたい

## 一般質問

### 獨

## 協医大南側の地区計画の展望は

建設部長

医療環境等への社会要請にも対応していきます



落合誠記 議員

沿道サービス拠点等拡充の展望を問う

**問** ①沿道サービスの成果は。②立地までの引き合いの詳細を伺う。③獨協医大南側の、地区計画の展望は。

エネルギー施策を問う

**問** ①太陽光システム設置の世帯数、補助金額は。②メガソーラー急増による、系統接続制限等に対する見解を問う。

民生部長

①平成21年度の制度創設以来、本年度2月末までで累計854件、補助金

交付総額は1億2,766万3千円であります。  
②国において具体的な見通しは示されていませんが、県においては、系統接続の制約解除が早期に行われるよう国へ要望を行っていくとしておりますので、町としても、県と連携を取っていきたくと考えています。

人と動物の共生する社会を

**問** ①本町の犬の登録数、予防注射の実績は。②捕獲された犬の頭数、引き取り数は。③ペットの苦情件数、内容は。④町内動物愛護団体の把握は。⑤殺処分ゼロへの見解を。⑥避妊・去勢手術の助成を求める。

民生部長

①平成27年2月末現在、犬の登録数は2,339頭、狂犬病予防注射接種済

み頭数は1,535頭です。  
②町内で捕獲された犬の件数は17頭です。  
③平成27年度2月末現在、33件の苦情が寄せられています。内容は、フン害、野犬、捨て猫の件が主なものです。  
④町内で活躍する団体の届け出登録はありません。  
⑤主に犬や猫の適正飼育を図るため、広報活動等を通して動物愛護の普及啓発に努めています。

⑥平成27年度から28年度実施計画に計上しています。

**建設部長** ①今後の既存の周辺環境や交通に配慮しながら、民間活力を初めとした新たな土地利用を誘導していきたくと思います。  
②潜在的な可能性を有する土地利用調整区域を広く公表し、有効な土地利用を図られるよう積極的に取り組んでまいりたいと考えています。  
③利便性の高い医療拠点として、より効果的な土地利用を誘導し、複雑化する医療環境等への社会要請にも対応していきます。



栃木県動物愛護指導センターでパートナーを待つ子犬たち



# Q&A

ここが聞きたい

## 一般質問

# 平

## 和について町長の所信は

### 町長 積極的に平和行政の推進を図っていきます



高山文雄 議員

**問** 住民が介護予防について学び、地域で支え合う地域力の再生につなげるには。

**民生部長** 「壬生町健康大学」では、多くの町民の方々に健康や福祉に関することを学んでいただいています。

全国の先進地の事例等を参考にしながら、壬生町の実情にあった体制づくりを図っていく考えであります。

**問** 住民と行政がひとつになって自ら介護予防に取り組むための施策は。

**町長** これからの高齢化時代を迎えるにあたっては在宅での介護・看護の方向に向かわざるを得ない中で、町として見守りネットワーク事業、お達者サロン、いきいきサロン等の対策事業を取り組み、予防等々に充実感を得られるよう

**問** 雇用協力事業所に優遇措置等を図っては。

**民生部長** 保護司の皆さまと雇用主との協議等の機会を設けています。

協力雇用主に対する支援制度としては、トライアル雇用制度や身元保証制度等の各種の国の支援制度があります。

戦後70年 平和について町長の所信を問う

**問** 次代を担う中学生に広島平和記念式典への参加を計画しているが、町長の平和についての所信を問う。

**町長** 我が国は戦争のない平和な時代にある今日においてこそ、日本の平和はもとより、世界全体の平和を実現するため戦争や原爆の悲惨さを次の世代に正確に伝え、恒久平和、命の尊さの理解をしていただく

くことがとても大切なことであり、政治や行政に、町民一人ひとりが、共に自ら課すべき責務と考えています。町民に対し、国際平和の啓発活動を中心に、積極的に平和行政の推進を図ります。

どうして高いのか 私たちの納める介護保険料は 納得いく町民の介護保険料に意識を変えていく鍵は

世界平和への願いを込めた長崎「平和祈念像」



世界平和への願いを込めた長崎「平和祈念像」

# Q&A

ここが聞きたい

## 一般質問

# 健

## 診の受診率アップ策としてポイント制度の導入は

民生部長 検討してより良い健康事業をつくっていきます



小牧敦子 議員

旨、目的を十分に理解していると思います。

**問** 人口減少対策として若者の声を聞く取り組みはどのようなか。

**総務部長** 地方版総合戦略を策定するなかで、幅広く町民の意見をお聞きしながら、課題解決に向けた施策の策定を考えていきます。

**健康寿命の延伸と医療費抑制対策は**

**問** 健診（検診）の受診率アップ策としてポイント制度の導入はいかがか。

**民生部長** 他市町村を参考にさせていただき、取り入れていく方法や、それ以外の方法も検討し、より良い健康づくりの事業をつくっていききたいと考えています。

**問** 女性特有のがん検査予防や検診への関心を高める取り組み、より精密な検査内容の導入方法はどのようなでしょうか。

**民生部長** 3月の女性健康週間にあわせて、予防や検診への関心を高めるために、女性のために健康づくり教室を実施いたしました。

また、平成27年度から中学生の女子を対象に性教育の授業の中で、子宮がん予防と検診の重要性についての啓発を実施する予定であります。

**問** サルコペニア対策として新体育館にウォーキング施設を導入しては。

**町長** 新しい体育館等々には、ウォーキング等が可能な取り組みをしていければと考えています。

住民主体の協働の町づくりは前進しているのか

**問** 自治基本条例制定についてどのような考えか。

**総務部長** 現在、協働のまちづくり指針の策定に向け、調査、検討を始めたところであり、今後、庁内並びに町民の方々と十分に議論を深め、指針をつくり上げてまいりたいと考えています。  
町民の皆さまの関心や機運

の高まりを踏まえた上で、自治基本条例につきまして検討してまいりたいと思います。

**問** 見守りネットワーク・防災訓練の主旨・目的を自治会長・役員のみならず、住民が理解することが大切であるが現状は。

**総務部長** 自治会長を中心に、自治会全体で協議し、会員が一体となって自治会活動の本来の姿に基づき実施されると思われるので、事業の主



協働のまちづくりの期待が掛かる「みぶりん」

新

## 体育館建設の事業費は

教育次長 国庫補助金等を導入して参りたいと考えています



田村正敏 議員

### 新体育館建設の進捗を問う

**問** 建設事業全体の概算事業費とその財源、補助金等の見積もりは。PFI等導入の可能性は。

**教育次長**

事業費と致しまし

ては、体育館本体の建設費、設計費、現在の体育館等の解体費用、跡地の整備費用等を含め、総事業費約30億円、そのうち体育館建設費用は約

20億円と試算しております。財源につきましては、国庫補助金等を導入したいと考えています。調査報告によりますと、現在想定している規模・事業費でも、条件が整えばPFI事業での財政負担削減効果がある程度見込めるのではないかと、調査結果となっております。

**問** 基本構想にある「町民総スポーツの推進拠点」や「新たな町のにぎわい拠点」といった基本コンセプトをどう実現していくのか。民間活力をどう生かすのか。

**町長**

町民の健康寿命の延伸や運動能力を高められる施設づくりを目指したいと考えています。

**スポーツ振興課長**

基本構想では、現在の体育館を避難所として継続し、新体育館を南側に建てる事になっていきます。

一般的に体育館に商業施設を入れるのは難しいという意向調査の結果があります。今は、民活を導入して、いかに健康増進等を図ってもらおうか考えています。

### 地方創生事業は

**問** 国の総合戦略にもとづき、どの程度の予算と事業が予定されているのか。

業が予定されているのか。

**町長** 予算につきましては、補正予算として歳入8,406万7千円、歳出と致しまして8,614万3千円であります。

緊急経済対策と致しましての地方消費喚起・生活支援型交付金に対応した事業と致しまして、プレミアム商品券の発行事業・さらに、18歳以下のお子さんの多子世帯に負担軽減を目的とし、商品券を安く購入できる施策も考えています。

**問** 地方版総合戦略の策定は、いつ、どのように進めていくのか。

**町長**

平成27年度に策定予定の地方版総合戦略の中で、人口減少を最小限に抑え、人口増加につながる戦略を積極的に取り入れたいと考えています。



どうなる 新体育館建設と周辺整備



# Q&A

ここが聞きたい

## 一般質問

# こ

## ども医療費無料化を18歳まで拡充

町長 本町独自のさらなる拡大について慎重に判断します



小貫 暁 議員

子育て支援は若者を引き付ける力がある

**問** こども医療費無料化年齢を18歳まで引き上げよ。

**町長** 本年4月からの中学3年生までの現物給付により、当初予算7千万円の増額となっております。県内外の自治体によって実施状況による格差が生じることから、国や県に対しまして引き続き国庫負担金の減額措置の撤廃や県の制度拡充などを要望しながら、本町独自のさらなる拡大について慎重に判断していき

たいと考えています。

**問** 繰り返し質問しているが小中学校給食費の完全無料化で子育て世代支援強化を。

**町長** 現在、給食費の助成を一人につき、年額5,500円を支援しています。27年度も1,738万1千円を計上致しました。学校給食の無償化を実施するとなりますと1億7,200万円ほどの財源が必要となり難しいものと考えています。

消防団費は公費負担で

**問** 消防団協力費に関して住民と協力会(自治会)で係争事件となっている。公費負担は当然だが、本係争事案への対応を求める。

**総務部長** 町及び自治会連合会を通じて、自治会消防協力費のあり方等について検討するするとともに、裁判に行政がかかわれるか検証し、今回の訴訟につきましては、出来るだけの対処が何かできないか、検討を図っているところであります。

次期振興計画は焦眉の急となつている地場産業復興の具体策はどうなる

**問** 新規開店する若者に産業支援策はできないか。

**町長** 地域との連携を図り、後継者の育成を推進すると同時に、地域ブランドの発掘や開発支援、情報発信に努め、新たな商業活動の展開を促進いたします。

**問** 新規就農者の呼び込み策と耕作放棄地解消にターゲットを拡大を結び付けよ。

**町長** 国の支援策として、日本政策金融公庫の農林漁業セーフティネット資金を貸し付ける特例制度が設置されました。年間150万円の新規就農の支援金を算出し、機械や設備、施設等々にも条件付ではありますが2分の1を支援する農業に対する高評価の政策だと思っています。

こども医療費無料化県内実施状況 (2014年度)

市町村名	対象年齢																			
	小学校			中学校			高校													
	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	4年										
1 津島郡			●																	
2 足利市							●													
3 美作市							●													
4 笠置市							●													
5 瀬田市							●													
6 日光市																				●
7 小山市																				●
8 高崎市																				●
9 大田原市																				●
10 大田原市																				●
11 藤岡市																				●
12 赤松市																				●
13 藤岡市																				●
14 宇都宮市																				●
15 上野原市																				●
16 益子町																				●
17 日光市																				●
18 高崎市																				●
19 高崎市																				●
20 高崎市																				●
21 高崎市																				●
22 高崎市																				●
23 高崎市																				●
24 高崎市																				●
25 高崎市																				●
26 高崎市																				●
計																				0

# 議案に対する賛否状況

※市川義夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	遠藤 恭子	赤羽根 信行	河野 恒雄	小牧 敦子	坂田 昇一	玉田 秀夫	田村 正敏	中川 芳夫	鈴木 理夫	榎井 聡	大島 菊夫	落合 誠記	高山 文雄	細井 敬一	小貫 暁
議案第1号	壬生町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	壬生町保育の実施に関する条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	壬生町地域包括支援センターの人員等に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	壬生町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	壬生町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	壬生町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	壬生町教育委員会教育長の給与、旅費及び勤務時間その他の勤務条件に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	壬生町教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	壬生町特別職報酬等審議会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	壬生町職員定数条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	壬生町行政手続条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	壬生町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	壬生町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	壬生町職員の旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	壬生町特別旅費の支給に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	壬生町都市計画税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	壬生町黒川の里ふれあいプール設置、管理及び使用条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	壬生町特定疾患患者介護手当支給条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	壬生町敬老金等給付条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	壬生町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第23号	壬生町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会規約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	下水道資源化工場施設の建設及び維持管理に関する事務の委託に関する規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	壬生町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	壬生町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	遠藤 恭子	赤羽根信行	河野辺恒雄	小牧 敦子	坂田 昇一	玉田 秀夫	田村 正敏	中川 芳夫	鈴木 理夫	榎井 聰	大島 菊夫	落合 誠記	高山 文雄	細井 敬一	小貫 暁
議案第 28 号	壬生町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 29 号	壬生町公共下水道水処理センターの建設工事委託に関する変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 30 号	財産の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 31 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 32 号	平成26年度壬生町一般会計補正予算（第6号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 33 号	平成26年度壬生町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 34 号	平成26年度壬生町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 35 号	平成26年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 36 号	平成26年度壬生町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 37 号	平成26年度壬生町水道事業会計補正予算（第3号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 38 号	平成27年度壬生町一般会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第 39 号	平成27年度壬生町国民健康保険特別会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第 40 号	平成27年度壬生町公共下水道事業特別会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 41 号	平成27年度壬生町奨学資金特別会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 42 号	平成27年度壬生町介護保険事業特別会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第 43 号	平成27年度壬生町農業集落排水事業特別会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 44 号	平成27年度壬生町後期高齢者医療特別会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第 45 号	平成27年度壬生町水道事業会計予算決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 46 号	壬生町副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 47 号	壬生町教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第 1 号	壬生町議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 会 派 名 簿

平成27年 4 月 1 日現在

◎会長

◎会長 ○副会長

会派名	結成年月日	人数	構 成 員
新風会 <small>しんぷうかい</small>	H27.4.1	3	◎河野辺恒雄 高山 文雄 中川 芳夫

会派名	結成年月日	人数	構 成 員
清友会 <small>せいゆうかい</small>	H27.4.1	10	◎榎井 聰 ○赤羽根信行 細井 敬一 大島 菊夫 市川 義夫 鈴木 理夫 坂田 昇一 玉田 秀夫 田村 正敏 遠藤 恭子



## 表紙写真の説明

壬生消防署庁舎竣工式  
平成27年3月30日石橋地区消防組合壬生消防署庁舎が竣工しました。新壬生消防署庁舎は、わんぱく公園正門東側に位置しています。

地域防災施設の核として、耐震、防火性能を備えるとともに多面的機能を有し、地域防災拠点としての機能も兼ね備えています。町民の生命財産を守るため、今後さらに地域防災体制の充実強化が図られ、住民サービスの向上に期待がふくらみます。

坂田 昇一

議会って  
何をやってるの？

住民の声を  
生かせるチャンス

## 壬生町議会と住民との懇談会 (トーク&ディスカッション)

本町議会では、議会活動を地域に出向いて町民に報告・説明し、議会活動に対する意見や町政に対する提言などを話し合い、議会活動の一層の充実を図り、活力ある町の発展に資するため議会と住民との懇談会（トーク&ディスカッション）を開催します。

できるだけ多くの住民に参加いただきたく、下記の日程としました。ぜひ、参加して率直なご意見をいただきたいと思います。

日 程	場 所
平成27年10月10日（土曜日）午後6時から	壬生中央公民館
平成27年10月17日（土曜日）午後6時から	南犬飼地区公民館
平成27年10月24日（土曜日）午後6時から	稲葉地区公民館

★住民の方は、希望する会場に自由に参加できます。

## みぶまち議会の 情報の閲覧・検索が 簡単に行えます。

壬生町公式WEB（ホームページ）TOP >  
分野>行政まちづくり>壬生町議会  
にてご覧になれます。

## 茨城県坂東市議会が来町



去る3月26日、坂東市議会の皆さんが、視察のため壬生町を訪れ「壬生町議会の概要」及び「ハイウェイパーク（道の駅みぶ）について」の意見交換を行いました。

## 議会広報特別委員会



遠藤委員 坂田委員 赤羽根委員長 玉田副委員長 中川委員

委員長 赤羽根信行 委員 坂田 昇一  
副委員長 玉田 秀夫 〃 中川 芳夫  
〃 遠藤 恭子

## 編 集 後 記

厳しかった寒さも去り、サクラを始めいろいろな草花が咲き乱れ、まさに春爛漫の季節となりました。この冬は大雪の被害もなく、今年は災害のない一年にしたいものです。

さて、今議会は予算議会であり、平成27年度の一般会計予算は114億8千万円でスタートいたします。

また、今秋の10月には議会報告会が初めて開かれます。「議会と住民との懇談会」と銘打ち、議員が議会活動を報告し、町民の皆さまと議会や町政に対する意見や提言などを話し合い、議会活動の一層の充実を図り、活力ある町の発展に繋げてまいりたいと思います。

多数の方々の参加をお願いいたします。

中川 芳夫